

MDDP旬刊

音楽舞踊新聞

THE MUSIC AND DANCE PRESS

No. 2916 平成26年1月1・11日号

月3回発行1部120円 (消費税込)

発行所 〒112-0004 東京都文京区後楽2-18-4
購読料 半年2,600円・1年5,000円(千円) 毎月1日・11日・21日発行 昭和61年12月16日 第三種郵便物認可

株式会社 音楽新聞社 編集発行人 前岡明俊
昭和61年12月16日 第三種郵便物認可



毎月1日・11日・21日発行 購読料 1年分5,000円(1部120円)
送金方法/みずほ銀行:浅草橋支店 株式会社 音楽新聞社
(当座預金口座 1970) または郵便振替 (00160-7-33296)
株式会社 音楽新聞社にお込み下さい。

株式会社 音楽新聞社

〒259-1313 千葉県市原市松原町2-20
電話 0463-89-3250 FAX 0463-89-3250



ローザンヌ目指す新鋭・脇田紗也加

少女クララで鮮烈デビュー

「豊田シティバレエ団「くるみ割り人形」」

武田 洋平

愛知県豊田市を拠点に海外公演でも実績を挙げているNPO法人豊田シティバレエ団11月特別公演は、毎年秋恒例チャイコフスキー作曲「くるみ割り人形」全2幕。クリスマス・イブの夜、少女クララの夢の世界を豊かに彩った幻想的な光景が色彩感を伴ってステージで展開され、振り替え休日の夜という営業的には不利な条件にもかかわらず1階席のほぼ8割を埋めたバレエファンを楽しませた。

特筆すべきは慧星の如く現れた新鋭 脇田紗也加の、主役としては初舞台ながら惜しいほど落ち着いた演技。正確度の高い跳躍にブレの無い回転といたった高度なテクニクを披露する一方、クララと金平糖の精の一人二役ながら、童女の風貌を伸びやかに放射させ、豊かな才能の一端を垣間見せた。一年間のベルギー留学から戻ったばかりの17歳の若い肢体には、豊かな将来性が潜んでいる。2014年早々に開催さ

れるローザンヌ国際バレエコンクール第二フェーズ出場への、華麗な門出を印した。

その脇田が自由闊達な動きを舞台に刻み得たのも、王子役アファナシエフ・サリアルルの、パ・ド・ドウなどでみせた巧みなリードあつてこた。彼がプリンシパルを務めるロシア。サハ共和国ヤクーツク国立バレエ団および同バレエ学校との提携記念公演でもあり、同校から13人と、同じく友好関係にある韓国中央大

学校芸術学部舞踊科から4名のダンサも参加、インターナショナルな彩りを添えた。

斬様な混成軍団を一つに束ね上げたのが、舞踊生活50年目の節目を迎えた芸術総監督の諏訪等・豊田シティバレエ団長。自らもネズミ軍団の大將に扮してコミカルな役回りを演じ、傘下のバレエ教室の子ビっ子たちがネズミの縫い包みの中で発散させる稚気を大人たちの輪の中に昇華させていた。

意が流れを制動する脆弱性を指摘しておきたい。それにしても、人口42万の地方都市に十指に余るバレエ教室が乱立、しかも横の連絡も皆無という現状は、我が国バレエ界の負の縮図ではないか。よく言えば孤高、ありていに申せば無秩序。これでは公演に公金の助成など望むべくもない。諏訪氏が先祖伝来の田畑を切り売りし営々と積み上げてきた本公演が永劫、金字塔であり続ける為にも、広く芸術一般として認知されるバレエへ脱却を目指し、近代化への道筋を真剣に探る必要があるように思われる。

(11月4日豊田市民文化会館大ホール)

好関係にある韓国中央大

学校芸術学部舞踊科から

4名のダンサも参加、イ

インターナショナルな彩

りを添えた。